

道徳教育推進教師の役割と各学校の計画等について

—道徳科と他の教育活動の関連—

岐阜教育事務所 教育支援課



1 道徳教育推進教師の役割

【学習指導要領解説 総則編 (小) P128、129 (中) P131、132】

項目例	具体的内容例
① 道徳教育の指導計画の作成	■ 重点目標を共通理解できる機会を設け、見直しの視点を示す。
② 道徳教育の推進、充実	■ 全体計画等を基に、他の教育活動との関連を見直す。
③ 道徳科の充実と指導体制	■ 有効な指導方法や教材についての情報を提供する。
④ 教材の整備・充実・活用	■ 授業に用いる教材、教具の整備等の企画・提案する。
⑤ 道徳教育の情報提供や情報交換	■ 道徳的環境を整備し、研修報告や他校の研究授業に参加する。
⑥ 家庭や地域社会との連携	■ 道徳科の授業公開や、道徳通信を配布する。
⑦ 道徳教育の研修の充実	■ 校内研修や道徳教育研修を位置付ける。
⑧ 道徳教育における評価	■ 評価の視点や評価方法などの共通理解を図る。



2 道徳教育の全体計画

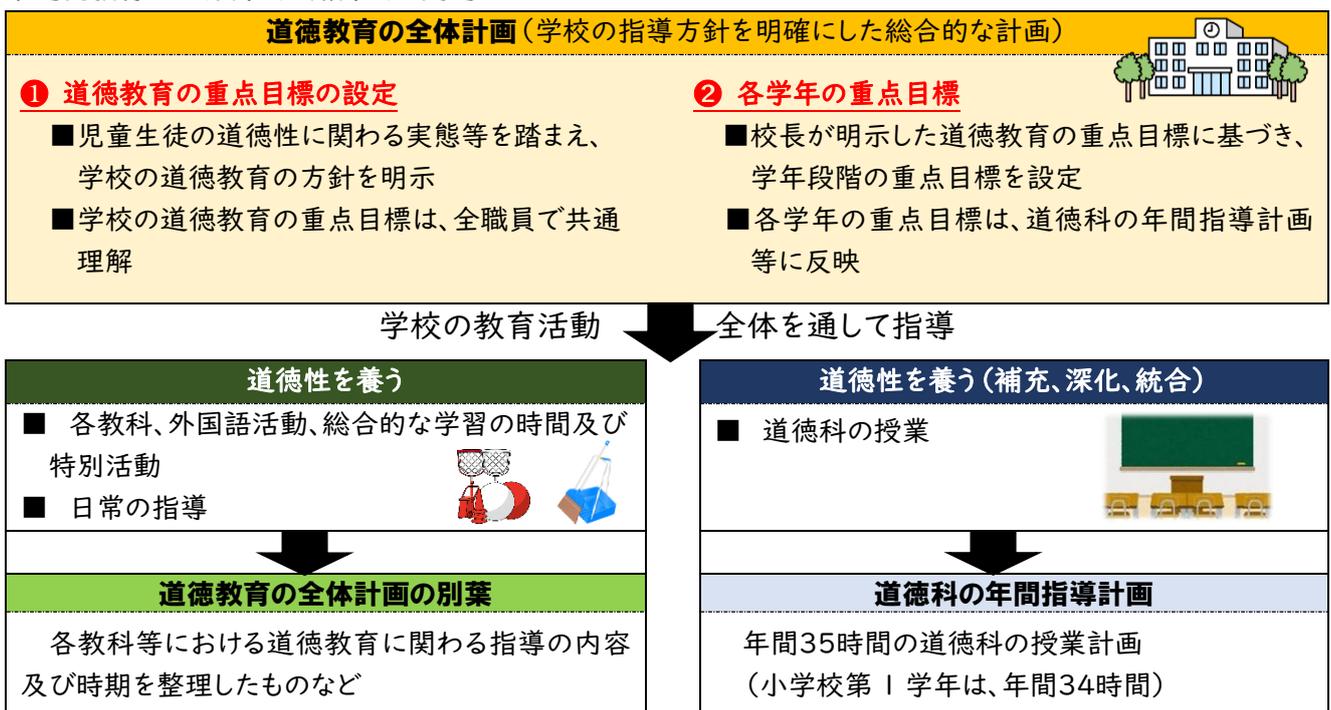
【学習指導要領解説 総則編 (小) P129~133 (中) P132~136】

(1) 全体計画の意義

- (ア) 資質の育成を図る場として学校の**特色や実態及び課題**に即した道徳教育が展開できる
- (イ) 道徳教育の**重点目標**を明確にして推進することができる
- (ウ) 道徳科の**位置付けや役割**が明確になる
- (エ) 全教師による一貫性のある道徳教育が**組織的**に展開できる
- (オ) 家庭や地域社会との**連携**を深め、保護者や地域の人々の積極的な参加や協力を可能にする



(2) 道徳教育の全体計画と諸計画の関連





(1) 年間指導計画の意義

- ① 道徳科の指導が、道徳教育の**全体計画に基づいているもの**
- ② 児童生徒の発達段階に即して、**計画的、発展的**に行われるように組織された全学年にわたるもの

※ 児童生徒の実態や多様な指導方法等を考慮して、学年段階に応じた主題を構成し、この主題を年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示すなど授業を円滑に行うことができるように示したもの



ア【計画的、発展的な指導】

小学校6学年間(中学校3学年間)を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を図った指導を可能にする。

年間指導計画

ウ【研修】

学級相互、学年相互の教師間の研修などの手掛かりとなる。

イ【学習指導案の立案】

個々の学級において道徳科の指導案を立案するよりどころとなる。

(2) 評価、改善の視点

全職員の共通理解の下に、日常から実施上の課題を備考欄に記入したり、検討したりして評価と改善(⑧)を行う。

創意工夫し、留意すべきこと	視点
① 主題の設定と配列	<input type="checkbox"/> 道徳教育の状況、それに伴う児童生徒の実態などを踏まえているか。 <input type="checkbox"/> 道徳的価値の理解に基づいて、自己を見つめるためのねらいであるか。 <input type="checkbox"/> 自分との関わりで(人間としての生き方を)考えることができる教材であるか。 <input type="checkbox"/> 他の教育活動との関連、地域社会の行事、季節的変化などを考慮した配列か。
② 計画的、発展的な指導	<input type="checkbox"/> 内容項目相互の関連性や、学年段階ごとの発展性を考慮しているか。 <input type="checkbox"/> 小・中学校における道徳科との関連を図っているか。
③ 重点的指導	<input type="checkbox"/> 重点項目の指導時間数を増やしたり、一定の期間において繰り返し取り上げるなどの配列を工夫したりしているか。 <input type="checkbox"/> 問題解決的な学習など、多様な指導方法を用いているか。
④ 各教科等、体験活動等との関連的指導	<input type="checkbox"/> 具体的な関連の見通しをもつことができるようにしているか。 <input type="checkbox"/> 体験活動と道徳科の指導の時期や内容との関連を考慮しているか。
⑤ 複数時間の関連を図った指導	<input type="checkbox"/> 一つの主題を2単位時間にわたって指導しているか。 <input type="checkbox"/> 複数の教材による指導と関連させて進めているか。
⑥ 他学年段階の内容を加える(必要な場合)	<input type="checkbox"/> 全体にわたる効果的な指導を工夫しているか。 <input type="checkbox"/> 当該学年の指導を行った上で学校の特色や実態、課題などに応じて他学年段階の内容を加えているか。
⑦ 計画の弾力的な取扱い	<input type="checkbox"/> 年間指導計画の弾力的な取扱いについては、次のような場合が考えられる。 ア 時期、時数の変更…児童生徒の実態などに即して行う。 イ ねらいの変更…年間指導計画の全体構想の上に立ち、協議を経て行う。 ウ 教材の変更…同一学年の他の教師や道徳教育推進教師と話し合った上で、校長の了解を得て変更する。 エ 学習指導過程、指導方法の変更 …意見交換を積極的に行い、児童生徒や学級の実態などに応じて適切な方法を開発する。



(1) 別葉

- ① 各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの
- ② 道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの
- ③ 道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動が分かるもの



(2) 計画的・発展的な指導

道徳教育の要としての道徳科の役割

補充	深化	統合
各教科等で行う道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を道徳科の授業で補う。	各教科等で行う道徳教育として取り扱う内容項目について、児童生徒や学校の実態等を踏まえて、道徳科の授業でより一層深める。	各教科等で行う道徳教育として取り扱う内容項目について、道徳科の授業で、相互の関連を捉え直したり発展させたりする。

別葉の効果

- ① 教職員が計画的、組織的、継続的な道徳教育を推進する一人であることが共通理解できる。
- ② 作成した計画が計画で終わらず改善充実のPDCAサイクルで実践できる。
- ③ 学校の教育活動が道徳科を要に横断的、縦断的につながれて、学校の教育課程が目標実現のための計画として機能するようになる。

別葉の活用例

授業計画の構想	実践
教師が道徳科の授業計画を立てる際に、各教科等で取り扱った内容項目を確認する。	道徳科の授業で理解し、考えを深めた道徳的価値について、各教等で実践する。

（例1）自校で重点とする内容項目の部分に色を付け、指導後に、記録や改善策を書き加える。

（例2）掲示用の拡大版別葉に、全教職員がそれぞれの実践や評価等を付箋で表したり、他の教育活動との関連を道徳的視点で捉えて、気付いたことや改善点を書き込んだりする。

（例3）学年会等において、学年用の別葉に道徳実践の指導内容を記録する。

（例4）次月の各教科等の指導内容を見て、道徳実践の指導が行える場を計画し、共通理解する。

※上記例を繰り返し、来年度に向けて道徳教育全体計画や別葉を改善していく。

(3) 評価、改善の視点（全体計画を、年間を通して具体的に活用しやすいものにするために）

- ① 道徳教育の重点目標は**具体的**か。
- ② 道徳教育の重点目標の**ポイント**は**明確**か。
- ③ 道徳教育の重点目標の**ポイント**に関わった**重点内容項目**か。
- ④ 道徳科の授業以外の**指導内容及び時期**は**明確**か。
- ⑤ 教育活動全体でどのように実践していくかという**見通し**が分かるか。



参考資料

<p>【小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 特別の教科 道徳編】</p>	
<p>【中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 特別の教科 道徳編】</p>	
<p>【道徳教育の抜本的充実に向けて】 文部科学省</p>	
<p>【道徳教育アーカイブ】 文部科学省</p>	
<p>【道徳科の授業の充実を図るために】 NITS 独立行政法人教職員支援機構</p>	